

羽田空港拠点 大学国際化を

有識者会議が発足

東京・羽田空港を拠点に、大学の国際化を目指す有識者会議「University Hub Haneda Airport」(座長 中嶋嶺雄・国際教養大学

長)が発足した。文部科学省幹部や財界人、国会議員らで構成し、事務局は同空港を運営する日本空港ビルデングに置かれる。

会議では、同空港内での大学のパンフレット配布や公開講義の開催など、日本の大学の魅力を世界に

大学 *ing*

発信する手段を中心に検討する。日本への留学を希望する外国人だけでなく、

く、海外留学希望の日本人学生も対象とした留学相談や留学後の就職相談の窓口設置なども話し合う。

中嶋座長は「(東大の)秋入学で国際化ができるわけではない」と問題意識を強調。「羽田空港のアクセスの良さをフルに活用し、国境を越え

た学生の往來を促進する知のハブ(拠点)化を目指す」と話している。

同空港は国内48空港、海外15空港と直結し、年間利用客数は約6400万人で世界5位。